



市では、「協働のまちづくり推進事業」として、地域の皆さんと協力しながら、各小学校区での協働のまちづくり事業の取組みを推進しています。今回は小郡校区協働のまちづくり準備会防災部会の取組みを紹介します。

## 災害図上訓練「DIG」を実施！万が一の災害発生に備える

3月2日、小郡交流センターで災害図上訓練DIGを行い、小郡小学校区内の行政区の役員など85人が参加しました。

今回は小郡市で震度6強の地震を観測したという想定での訓練を行いました。

### 訓練の進め方

DIGとは、地図に防災上の地域の情報を書き込みながら、被害を軽減させるための対策について話し合う机上訓練のことです。



- ①行政区ごとに自分たちの住む地域の地図を囲み、危険箇所や安全箇所を書き込む
- ②震度6強の地震が発生した場合、ブロック塀の倒壊などで通行止めになる箇所や火災発生箇所を書き込む
- ③出来上がった地図をもとに、地域の防災上の特徴を話し合う(安全箇所、危険箇所など)
- ④地域の特徴をもとに、事前にできる対策を話し合う
- ⑤地域の特徴と対策をまとめたら、班ごとに発表



防災部会長  
奥園末雄さん(開2区区長)

### 校区内全ての行政区での自主防災組織の設立を期待

今回の訓練では、参加者の皆さんがお互いに意見を出し合い、訓練に真剣に取り組む姿が印象的でした。

この訓練の中で、地域の災害に対する強みや弱み、課題を共有できたことは、防災意識を高めることにつながり、今後の防災活動につながる成果を得られたと感じています。

今後、区民への防災意識の啓発や防災体制の強化などを行う必要があります。この訓練を契機として、今年度中に校区内全ての行政区で自主防災組織が立ち上がり、更なる防災への取組みが進むことを期待しています。

### 災害図上訓練で明らかになった小郡小学校区の特徴

#### ■強み

- ・国道500号、七夕通りなど幹線道路が通っている
- ・市役所、消防署、警察署、病院などの公的機関が近くにある
- ・学校や公園など、近くに避難場所になる場所を確保できる

#### ■弱み

- ・高齢者のみ、ひとり暮らしの世帯が多い
- ・古い木造住宅が多く、密集している
- ・生活道路が狭い
- ・倒壊の危険性が高いブロック塀が多数存在し、避難経路が通れなくなる恐れがある



地域の強みと弱みから災害時に必要なもの・事前にできる対策は

- ・避難場所と避難経路の整備や確保
- ・区民への避難場所や避難経路の周知
- ・備品や食料品の整備
- ・消火栓などの位置の把握
- ・区民への防災意識の啓発
- ・緊急時の連絡体制の確立
- ・要援護者に対する支援